

## ◆新技術定着試験事業

### 新規海藻養殖試験 (宜野座 クビレオゴノリ)

水産業海洋技術センター 吉田聰

#### 1. 目的

クビレオゴノリ養殖への取り組みは昭和60年代から水産業改良普及センターを中心に養殖の研究が行われてきたが、現在まで養殖技術は確立されていない。

今回の養殖試験では、クビレオゴノリの四分胞子体を母藻として、水産海洋研究センターで得られた四分胞子を採苗し、その芽出しと生長について観察を行う。

#### 2. 材料および方法

金武町福花地先で採取した母藻から得たクビレオゴノリの四分胞子を用い、テグスとモズク網(以下、養殖網)に採苗を行い、宜野座村地先の共同第7号内及び特区第113号(もずくヒビ建て漁業)内の試験区において、芽出しとその後の生長について試験を行った。

共同第7号内(以下、漢那地先)では、囲い網有り区と無し区に分け、それぞれ5ラインの試験区を設け、1ライン毎にテグス(2m)を4本、海底から30cm程度離れた位置に2本、海底に近接した位置に2本、計20本、全体で40本のテグスを展張した。平成24年度はテグスを平成25年度はモズク網と同じ素材のロープを用いた。

また、特区113号(以下、宜野座地先)にはモズク網(1.8m×20m)を張張した。管理は、宜野座村漁協の漁業者の協力の下、水産海洋技術センターが直接行った。

#### ○試験経緯

##### <前年度設置分>

平成25年

4月10日 漢那、宜野座地先の成育状況確

4月16日 宜野座地先の養殖網収穫試験

4月17日 収穫試験藻体の評価

5月15日 漢那地先の成育状況確認

6月6日 漢那地先成育状況確認、撤去

6月26日 宜野座地先の養殖網確認

##### <今年度設置分>

11月5日 宜野座地先へ養殖網(1枚目)展張

1月15日 漢那地先へロープ展張

2月19日 宜野座地先へ養殖網(2枚目)展張

平成26年

3月19日 宜野座地先へ養殖網(3枚目)展張、漢那地先ロープ撤去

#### 3. 結果

漢那地先では、昨年度展張したテグスの観察を6月6日まで行ったが、終始、沖側の(岸壁側から沖側に向けてNo.1~No.5まで展張)生育が良く、海底に隣接している方が個体数も多かった。

囲い網の有無による効果については、囲い網のある方が食害が少ないようであったが、両試験区ともに食害痕があり顕著な差は見られなかった。

また、今年度設展張したロープにはモズク網と同じ素材が用いられているが、2ヶ月後の観察でほとんど生長がみられず、囲い網の有無による差もみられないため撤去した。

宜野座地先では、4月10日に昨年度展張した養殖網で藻体の十分な生長を確認したことから、1週間後(16日)に収穫試験を行った。

収穫作業はハサミを用いて船上で行ったが、途中、激しい雷雨となったため宜野座漁港に戻り、荷さばき場で継続した。

収穫は養殖網の半分から行い、約15kgの藻体を得ることができた。収穫後の養殖網は経過

観察用として半分残し元の場所に戻したが、6月26日には藻体は消失し基部のみが残っていた。

また、11月5日には新たな養殖網を展張したが1月15日の観察時には藻体は消失していた。

#### 4. 考察

漢那地先では、囲い網の有無にかかわらず、藻体に食害痕が見られ、明瞭な食害防止効果は見られなかったが、宜野座地先では先端に食害痕が見られたものの、十分な生育が確認されたことから、囲い網無しでも養殖ができる可能性が示唆された。

宜野座地先での食害が軽減された要因としては、同海域がモズク養殖漁場であり、食害生物が養殖網の周りのモズクを優先的に食べたことが考えられた。

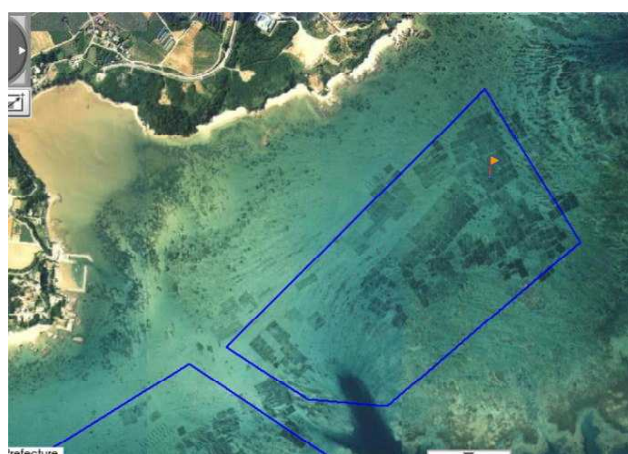
収穫試験の結果、養殖網1枚から約30kg程度の収穫が見込まれたが、収穫の1週間前には食害痕が見られなかったことから、収穫のタイミング、養殖網の展張場所を検討することにより、さらなる反収の増加が期待される。

また、収穫した藻体を羽地漁業協同組合員で鮮魚店を営む親川氏に評価してもらったところ、藻体は短いものの夾雑物は少なく製品としては問題ないとのことであった。

以上のように前年度分については成功が見られたものの、今年度展張分については2ヶ月後の観察で藻体が消失していた。原因としては沖出し時期が早かったことが考えられたが、同時期に他地区で実施した試験では順調な生育が確認されていることから今後の検証が必要である。



漢那漁港地先の試験区（共同第7号内）



宜野座漁港地先の試験区（特区第113号内）

< 漢那地先 >



テグスNo. 1 (藻体なし)



テグスNo. 4 (藻体あり)



テグスNo. 2 (藻体基部あり)



テグスNo. 5 (藻体あり)



テグスNo. 3 (藻体なし)

<宜野座地先>



全体 4月10日



下部より 4月10日

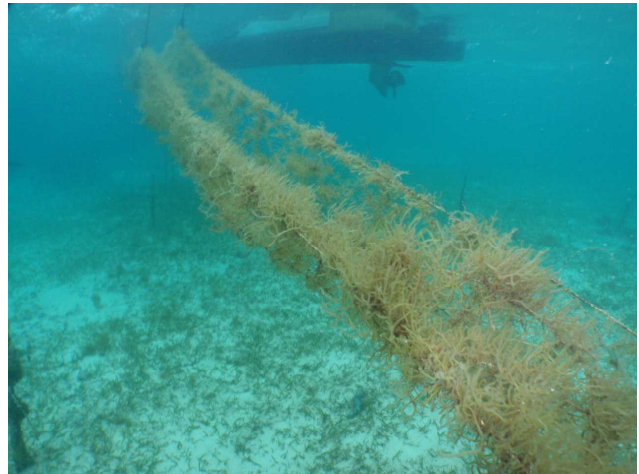


藻体 4月10日

<収穫試験>



藻体（先端に食害痕あり）4月16日



船上に引き上げ 4月16日



収穫試験（船上）4月16日



収穫された藻体約15kg/半網  
4月16日



昨年度設置網 中央部 6月26日  
(基部を残して消失)



収穫されたオゴノリ藻体の評価  
(羽地漁業協同組合 親川氏)



昨年度設置網 外縁部 6月26日  
(藻体溶出)



湯通しした藻体サンプル

<漢那地先> 10月27日



漢那地先のロープ設置区

<宜野座地先> 10月27日



展張作業に協力いただいた  
宜野座村漁協 仲栄眞指導漁業士



種付けされたロープ



養殖網中央部



ロープ設置作業



芽だしたオゴノリ藻体